

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		高齢者クラブ助成事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	010601000004	
						単独/補助	補助			
政策体系上の位置付け								所属課	040501	
政策体系	総合計画の施策名	0106 高齢者福祉の推進						課長名	高齢福祉課	
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						グループ	高齢福祉グループ	
	施策名	06 高齢者福祉の推進						担当者名		
	手段名	01 ①高齢者の健康と生きがいつくりの推進								
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	03	01	02	02	00	老人福祉総務事業			
法令根拠		桜川市高齢者クラブ事業費補助金交付要項				事業期間		単年度繰返し (平成17年度~)		
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市内にある各地区高齢者クラブと市全体で組織される高齢者クラブ連合会に加入する方々が健康で生きがいのある生活を送るために、その活動を支援するための補助金交付を行う事業である。 各地区高齢者クラブでは会員の親睦を図る交流会やスポーツ、地域の清掃活動などを行い、高齢者クラブ連合会では、輪投げやバタンクなどの各種スポーツ大会の開催や市の教養講座への参加をしている。	【担当者が行う業務の内容】 補助金申請書類の送付、補助金申請書の受付、申請書内容の確認、補助金の交付決定、補助金の支払い、実績報告書の確認・県への報告 ①各地区高齢者クラブ団体に対し、 基本額 (30,000円) + 人数割 (1人450円) の補助金の支払い ②市高齢者クラブ連合会に対する補助金の支払い ③県老人クラブ連合会に対する負担金の支払い

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
補助金申請書類の送付、補助金申請書の受付、申請書内容の確認、補助金の交付決定、補助金の支払い、実績報告書の確認	各地区高齢者クラブ数	団体	49.00	46.00	47.00	48.00	49.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
桜川市内単位高齢者クラブ	各地区高齢者クラブ数 (県費補助対象団体)	団体	34.00	29.00	30.00	31.00	32.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
桜川市各地区の高齢者クラブ活動の活性化を図るために支援する	各地区高齢者クラブの会員数	人	2,356.00	2,055.00	2,100.00	2,150.00	2,200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	731	640	640			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	3,119	3,478	3,725			
事業費計 (A)		千円	3,850	4,118	4,365			
正規職員従事人数		人	1.00人	1.00人	1.00人			

05年度事業費 実績 (千円)

06年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	05年度実績	06年度予算
18 負担金補助及び交付金	4,118	4,365
合計	4,118	4,365

(4) 当該年度の実施内容

06年度の事業内容

07年度の事業内容

08年度の事業内容

※年度ごとに事業内容を記入する	市内にある各地区高齢者クラブと市全体で組織される高齢者クラブ連合会に加入する方々が健康で生きがいのある生活を送るために、その活動を支援するための補助金交付を行う	市内にある各地区高齢者クラブと市全体で組織される高齢者クラブ連合会に加入する方々が健康で生きがいのある生活を送るために、その活動を支援するための補助金交付を行う	市内にある各地区高齢者クラブと市全体で組織される高齢者クラブ連合会に加入する方々が健康で生きがいのある生活を送るために、その活動を支援するための補助金交付を行う
-----------------	--	--	--

事務事業名	高齢者クラブ助成事業	事務事業No.	10601000004	所属課	高齢福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
県補助事業として、地域の高齢者の生きがいと健康づくりに寄与する目的で助成を行っている。高齢化に伴い、対象者人口は増加しているにも関わらず加入者は減少している。また、補助金の単価を平成22年より、「人数割補助単価@500→@450」へと減額している。さらに、令和6年4月から補助金額の算出方法を「会員数×450円+30,000円」のみに変更した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
地域高齢者クラブからは、クラブ加入者が高齢（80歳以上が大半）のため、事務手続きは変わらないのに補助金の配布金額が少ないことや事務手続きが面倒など、行政とのやり取りが困難になってきているという声がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 各地区の高齢者クラブの活動を支援することは、高齢者福祉の向上に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 高齢者の生きがいづくりのために各地区高齢者クラブの自主活動を支援することは、高齢者福祉の活動向上を図ることになるために妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 高齢者の生きがいづくりとしての目的は果たしている。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地域での高齢者の活動の場がなくなり、地域社会での交流が失われる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 地区単位で構成されている団体であるため、他に手法がない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 活動支援のための事業費であるが、H22年度に県補助金減額に伴う補助金算定単価の見直しをしているが、高齢者数の増加に伴い、団体の担う役割は増えているため、事業費削減は厳しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 各行政区単位の高齢者クラブを対象としているため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	超高齢社会に向けた地域の支え合い活動の強化が重要である中、高齢者クラブの活動は支え合いにつながる活動も含むため、活動を支援する必要がある。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ⑧																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>